

New Face!

ご紹介が遅くなってしまいましたが、今年度より伏見デイに新たな利用者さん・新たな職員が加わりました！今後ともよろしくお願ひいたします。

新規利用者 小林 由実 (こばやし よしみ) さん

- ★好きな食べ物 → スイーツ (特にモンブラン)。苦手な食べ物は麺類 (食べにくいから)。
- ★好きなTV → バラエティ番組が好き。好きなタレントはブラックマヨネーズ。
- ★好きな色 → “アースカラー” が好き。青 (空の色), 緑, 瑠璃色。
- ★自分の性格 → ひかえめで、人見知りしてしまいます…。

伏見デイの感想？
…まあまあ
楽しんでます♪



新規職員

今年度4月1日付で「京都市洛南障害者授産所」より異動してまいりました、松井 明子と申します。趣味はカフェめぐりとキャッチボールです。お気軽に声をかけて頂けると幸いです。よろしくお願ひいたします。

「脳トレ」、はじめました。

昨年度の秋より「地域講座」を共催している“メディケア訪問看護ステーション京都”さんから、こんな事業を始めたよ！と「オーダーメイド脳トレ」のご案内をいただきました。一人ひとりに合わせた“脳のトレーニング”メニューを提案するというものです。

伏見デイでも、事故等での外傷や脳内出血等による脳損傷から高次脳機能障がいがある方の利用が増えてきています。病院から退院された後、在宅でよりその方らしく過ごすためには正しい(機能)評価とアセスメント、それに合わせた生活トレーニング等が必要です。

脳トレなどの生活トレーニングが必要とわかってはいても、どういった内容がその方に適しているのか、医療との連携(専門家のアドバイスなど)の重要性を常々感じていたので、デイの利用者さんにご紹介してみたところ、初回は無料ということもあり、早速お試し受診をすることになりました。ある方は、考えた通りに口を動かすこと(言葉の出力など)は難しいものの、考えた通り手や指を動かす運動は少し得意でした。その時は「後出し負けじゃんけん」をされていたのですが、じゃんけんにわざと負けるといふ難しいことをさっさとこなし、楽しそうでした。口の動きと手指の動きを司る両分野が隣合わせなので、一方を刺激すると苦手な分野も刺激されて出力に繋がっていくことがあるということや、楽しんでできる“少し得意なこと”を毎日ほんの少しずつでも続けることが大切という話を聞かれ、家族の方と一緒にしたいと話されていました。

どんな支援にも言えることだと思いますが、やはりポイントは「楽しみながら」とか「得意なことを」ということのように。今後も、多職種連携、地域連携しながらその方らしい暮らしとはどんなものなのか、本当に求めておられるものが何なのかを大切にしながら、寄り添って支援していきたいと思ひます。(山内)



平成23年2月より伏見デイを利用されていた多田章さまが、昨年8月にお亡くなりになりました。

お悔やみ
穏やかでいつも笑顔の多田さま、これまで本当にありがとうございました。職員・利用者一同、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

まどちゃん 師範の!! なぞなぞ道場

Q. 「中ぐらいのサイズがない乗り物」ってなーんだ? (難易度: ★★★)

編集後記

早いもので、2017年も伏見デイは色々盛んで、何かもう怒濤の如く過ぎていきました…。2018年も皆さまにとって素敵な一年となりますように…！今年もよろしくお願ひします★ (山下)

(1994年2月4日) TS 'A

TANBABASHI-DAYORI

京都市伏見障害者デイサービスセンター

発行責任者: 時任 百子

〒612-8318 京都市伏見区紙子屋町 544

TEL: 075-603-1290 FAX: 075-603-1292

http://www.normanet.ne.jp/~fusimids/

Email: f-days@kyofc.or.jp

VOL. **42**
2018 JANUARY



平成29年8~9月、art space co-jin (きょうと障害者文化芸術推進機構)の企画展「コジコレ No.3」が開催。伏見デイの岡秋生さんが“6人の作家”の一人として選ばれ、これまで描いた作品が展示されました！また、岡さんの作品は障害者芸術をPRする「ハナー(垂れ幕)」にもなり、ロームシアターほか府内各地で展示されています。今回は特別に co-jin のスタッフさんをお願いし、「たんばばしだより」への寄稿を快諾していただくことができました…！

平成28年度「京都とっておきの芸術祭」より、art space co-jin が作品を選出する「Co-jin Collection -コジコレ-」。本展で3回目を迎え、「描くこと」をテーマに6名の作家を選定しました。ひたむきに線や色を描き続ける作家達の絵を通して、絵を「描くこと」について再考することが本展の趣旨です。

「描くこと」はかたちではなく絵のように見る事ができず、定着しない終わりなき行為です。しかし絵を通じてそれについて考えることは可能です。そうやって視点を広げてみると、作家それぞれが、必然的な意志を持って絵を描くという行為と向き合っていることを強く感じていただけのではないかと思います。

腕のストロークを感じさせる岡秋生氏の絵には、描くという行為が自らの身体との関係をもって絵に定着されていることを感じとることができます。小さな点や丸と、勢いのある線によって現れる四角形の集合体。縁の余白と、面を塗りつぶさない画法は、インクの重なり効果によりさらなる心地よい空気感を刻みます。身体性と軽やかさの共存する魅力に溢れた作品といえるでしょう。(art space co-jin スタッフ 小川)

※art space co-jin では現在、企画展「ART LOUNGE exhibition」を12/12~1/21の日程で開催中です。お近くにお越しの際はぜひお立ち寄り下さいね…！

art space co-jin
きょうと障害者文化芸術推進機構
〒602-0853
京都市上京区河原町通荒神口上ル
宮垣町83レ・フレール1F
TEL&FAX: 050-1110-7655
MAIL: info2015cojin@gmail.com
WEB: http://co-jin.jp
twitter: @cojin_info
facebook: www.facebook.com/artspacecojin



岡秋生 OKA AKIO



アケア・トトぎふへ

伏見デイの“秋のお楽しみ”と言えば、やっぱり秋レクですね！
今回は岐阜県の各務原市にある「アケア・トトぎふ」に行ってきました。
ここ数年は大阪・兵庫方面への外出が続いていたので、反対方向の岐阜
へ向かう車窓の景色もまた新鮮です。道中見えてくる近江富士や関ヶ原、
色づき始めた山々などを眺めながら、皆で長旅を楽しんでおられました。



2時間かけて現地に着くと、まず併設のレストランで昼食。岐阜なら
ではの飛騨牛コロッケやみそかつ丼など、魅力的なご当地メニューも色々あり…何
にしようか迷いつつ、それぞれ好きなものを食べて大満足の様子でした。

「アケア・トトぎふ」は“淡水魚”専門の水族館で、長良川の大自然を再現した
フロアと、世界の淡水魚を集めたフロアがあります。淡水限定なんて地味なんじゃ
ないの？と思いきや、これがなかなかどうして、予想を裏切る見ごたえ。日本固有
の希少な絶滅危惧種やら、ユニークな形をした海外の巨大魚やら…特に体長1mを
超える“メコンオオナマス”がひしめくように泳ぎ回る水槽は大迫力でした。

また、魚以外にもカピバラやゾウガメもいたり、ステージではアシカショーをして
いたり…運のいい利用者さんはカピバラにエサをあげたり、アシカに輪っかを投げ
る体験もできたりして、動物とのふれあいを楽しむひとときにもなりました。

今年は寒くなるのが早く、あつという間に冬が来てしまった感がありますが、利用
者さんたちは“つかの間の秋”をこの秋レクで思う存分満喫されているご様子でした。
来年度もまた、楽しい企画を立てられたらと思います…！ (山下)

ふれあいまつり！！

8月26日、「第17回ふれあいまつり」が開催されました。今年度も盛りだくさんの出店で会場
が賑わう中、私たち伏見デイはステージ発表としてポンポンを使ったダンスを2曲披露しました。
今回の選曲はゆずの「イロトリドリ」といきものがかりの「じゅいふる」です。

約3か月前から練習を始め、本番に向けて息の合ったダンスへと仕上げていきました。発表での
スピーチも利用者さんが分担し、すらすら言えるようになるまで懸命に練習を重ねられました。

そしてふれあいまつり当日。直前に最終リハーサルを行ない、準備万端でステージへ！本番の時
を迎えるまでは緊張感が漂っていましたが、いざ音楽が始まると、どの利用者さんも笑顔がこぼれ、
とても生き生きと発表に臨まれていました。これまでの練習の成果が発揮でき、終わった後は非常
に充実された表情でした。見守って下さっていた大勢のお客様からは割れんばかりの拍手を頂き、
残暑の厳しい夏空の下、今年度もとびっきり熱いステージ発表となりました！ (松井)



伏見デイでは、平成27年度に別室「どれみふあ荘」を立ち上げ、SST（社会
技能訓練）に特化した取り組み（調理や掃除、買い物など）を行なってきました。

現在、どれみふあ荘で過ごされ始めて3年目となった皆さんが、声を掛け合い、
助け合い、協力される姿、自ら考えて積極的に行動される姿が数多く見られます。

今年度からどれみふあ荘の職員体制も替わり、SSTについての研修を受講する
等、改めてSSTについて学習し直してきました。そこで、SSTの目的である「自分
の考えや気持ち、相手への要求などを今よりもっと上手に相手に伝えられるようになる
こと」を大事にし、利用者さん本人の考えや気持ちを安心して他者に伝えられるよう、
私たち職員も意識しながら過ごしています。

その中の一つの方法として、「ウォーミングアップ」という活動を行なっています。
その活動の中では“自己他己紹介”や“質疑一答”などを行ない、皆さんのそれぞれ
持っておられる価値観や考え、気持ちを安心して伝えること、その気持ちを受け入れて
もらえることと分かることで、日常から皆さんの持っておられる様々な思いを表出される
場面が増えました。

他にも、どれみふあ荘の皆さん
に合った創作活動や運動、朗読鑑賞
など、より一層活動の幅も広がり、
皆さんの表情も生き生きとして過ご
されているように思います。今後も、
皆さんが様々なことに挑戦しながら
安心して過ごしていただけるよう、
日々試行錯誤を重ねながら取り組ん
でいきたいと思えます。(小田島)

ここに来て、ゲームが好きになりました。
ゲームって、トランプとかオセロとかです。
なぜかって、やって楽しいし、悪い言い方
なればバクちって言われる人もいますが、そ
んなんじゃないかってふつうに楽しいからです。
* * *
とりあえず、もっともっと人と話せるよう
になりたいです。なぜこんな風になったかわか
らないけど、がんばってます。

▲どれみふあ荘の利用者さん
(金田さん)の手記より。

S!S!T! さらにとすてきにたのしく! どれみふあ荘の日々。

